

世の中の動向から考える

クリニックは

「キャッシュレス決済」

を導入すべき？



## 本書を読むとわかる3つのこと

1

クリニックがキャッシュレス決済を導入すべきかわかる

2

キャッシュレス決済導入のメリット・デメリットがわかる

3

クリニックにおけるキャッシュレス決済の手数料の仕組みがわかる

## 本書の内容

1. キャッシュレス決済の普及率
2. キャッシュレス決済の手数料について
3. キャッシュレス決済のメリット・デメリット

## Chapter 01.

---

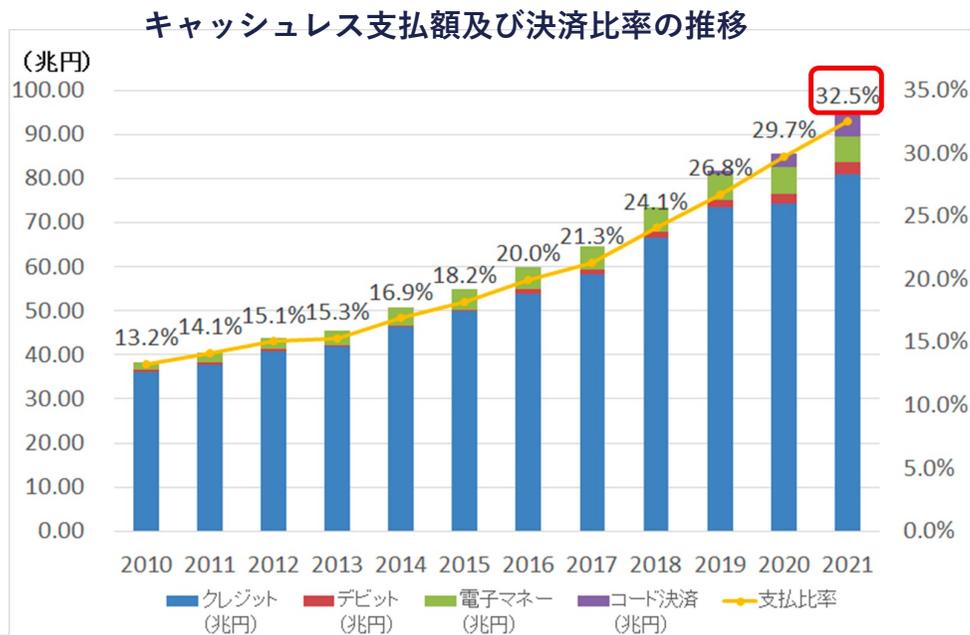
# 日本のキャッシュレス普及率

# 日本のキャッシュレス普及率

日本のキャッシュレス化の目標として、経済産業省の資料によると

“キャッシュレス決済比率を2025年までに4割程度、将来的には世界最高水準の80%を目指す。”

と目標設定をしています。実際、経済産業省の報告（2022年6月報告）によると2021年時点での**キャッシュレス決済比率は約32.5%**となっており、毎年普及率が向上しているようです。

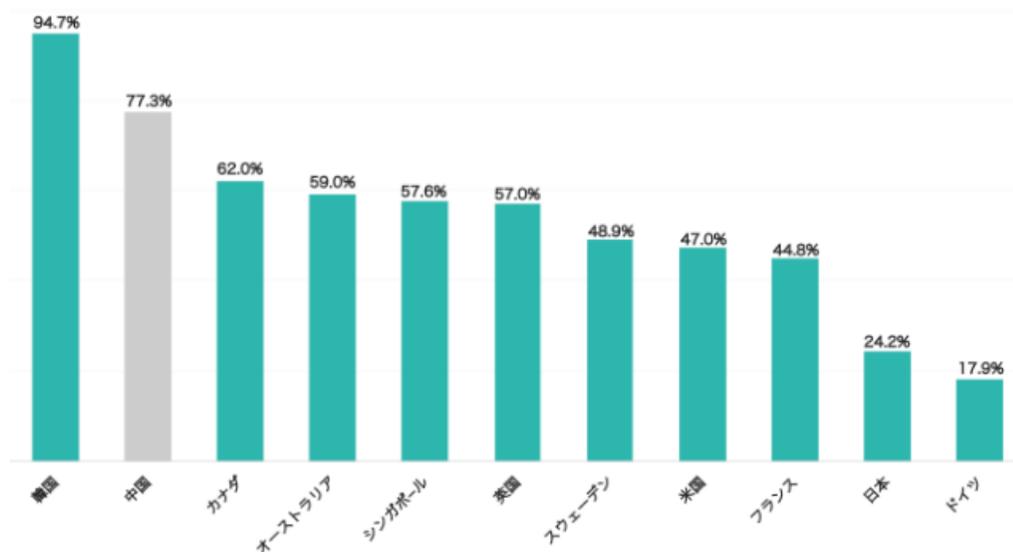


※引用元：経済産業省「2021年のキャッシュレス決済比率を算出しました」

# 日本のキャッシュレス普及率

しかし、国際比較（キャッシュレスロードマップ2021）では、  
諸外国と比較するとキャッシュレス決済の普及の進捗は進んでいないようです。

図表 7 世界主要国におけるキャッシュレス決済状況（2018年）



（出典）世界銀行「Household final consumption expenditure（2018年（2021/2/17版）」）、  
BIS「Redbook」の非現金手段による年間支払金額から算出  
※中国に関しては、Euromonitor International より参考値として記載

## クリニックにおけるキャッシュレス普及率

「キャッシュレス・ロードマップ2020」によると、

医療機関のクレジットカード利用率は6%（※）との報告があり、キャッシュレス決済の普及は遅れているようです。

（※こちらの報告は、病院とクリニック両方を含んだ結果であり、クリニックにおいては、さらに下回ると予想されます。）

日本でキャッシュレス決済が普及しにくい背景の要因を、

平成30年に出された経済産業省の「キャッシュレス・ビジョン」では、主に下記の4つの要因があると指摘しています。

- ・社会情勢の要因
- ・店舗側の要因
- ・消費者側の要因
- ・支払いサービス事業者側の要因

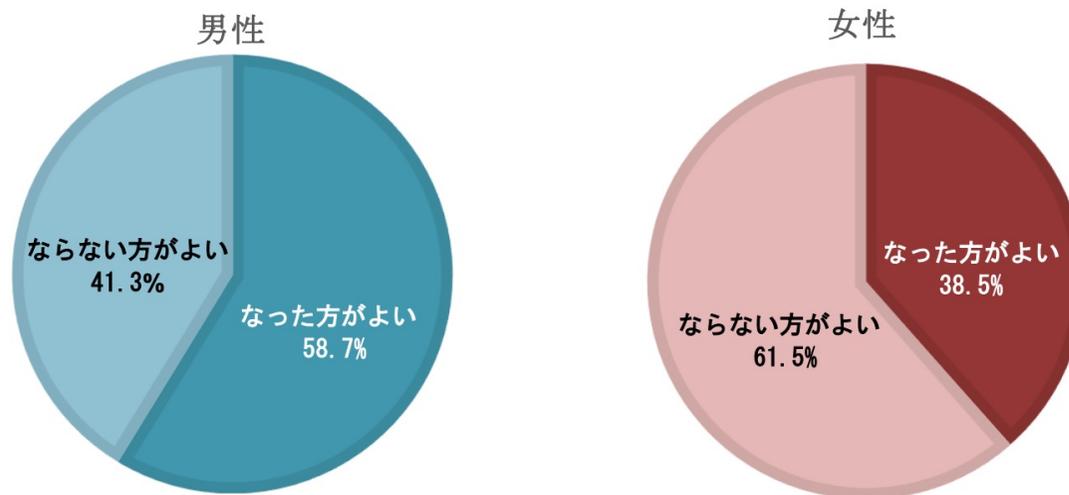


## キャッシュレス社会への期待と不安

消費者側の要因として**キャッシュレス社会へ不安を感じる層が半数**（男性4割、女性6割）いることが指摘されていました。  
特に**高齢かつ、女性の方は、不安を感じやすい**ようです。

図表 22 キャッシュレス社会への期待と不安

Q 近い将来、紙幣や硬貨などの現金を使う必要がない「キャッシュレス社会」になるのではないかとわれています。あなたご自身のお気持ちは「キャッシュレス社会」に「なった方がよい」「ならない方がよい」のどちらに近いですか？（単一回答）



# 医療機関にキャッシュレス決済が普及していない理由

また、我々がさまざまなクリニックの先生方とお話する中で

医療機関にキャッシュレスが普及しない理由は、主に下記の2点と考えています。

①患者さんがそれほどキャッシュレス決済を求めている

②キャッシュレス決済の手数料がかかる

そのため、クリニックは、他業種よりもキャッシュレス決済の普及が進みにくい現状であると考えます。



# 医療機関にキャッシュレス決済が普及していない理由

「①患者さんがそれほどキャッシュレス決済を求めている」についてですが、患者がクリニックを選ぶ主要な決め手は、アクセス（立地、診療時間）と医師の診療です。

そのため、

（現時点では）キャッシュレス決済ができるか否かでクリニックを選定する患者さんはほとんどいないと推察されます。

また、「②キャッシュレス決済の手数料がかかる」についても、懸念される先生が多いようです。クリニックのキャッシュレス決済手数料負担は他業種と比較して異なる点があります（※後述）が、数%利益が圧迫される可能性があります。

キャッシュレス決済によって、集患に効果があったり、単価の増加に繋がれば導入メリットは大きいかもしれませんが、現時点では、そこまでの効果を感じていないクリニックが多いため、導入が進みにくいと考えられます。

## Chapter 02.

---

# クリニックにおける キャッシュレス決済の手数料について

# クリニックにおけるキャッシュレス決済の手数料について

医療機関がキャッシュレス決済導入をしない大きな要因としては、  
事業者側が負担しなければならない手数料の存在があげられます。

自費診療を提供しているクリニックであれば、料金の設定が自由にできるため、  
キャッシュレス決済にかかる手数料分も加味して金額設定をすれば、手数料負担についてはそれほど問題にならないと思います。

そのため、保険診療中心のクリニックよりも  
自費診療を多く提供しているクリニックの方がキャッシュレス決済を導入されていることが多いです。

しかし、保険診療をメインで診療されているクリニックにおいては、料金が診療報酬で決められているため、  
手数料がかかることでクリニックの利益率が低下する懸念をお持ちの先生が多く、  
キャッシュレス導入に消極的な先生が多い印象です。

# クリニックにおけるキャッシュレス決済の手数料について

しかし、

キャッシュレス決済の手数料については、診療にかかった点数分全てに手数料がかかるわけではなく、患者さんの自己負担額（診療点数の1割～3割）にのみ手数料がかかります。

仮に、3%の手数料を3割負担の患者さんの支払いを想定してみましょう。

診療点数が100点（1000円）の場合、3割負担の場合支払いは300円で、その300円に3%がかかってきます。

よって、100点（1000円）の診療をした場合のクリニックの手数料負担は、9円となり、

診療点数にかかる実質の手数料率の負担割合は、0.9%となります。

もちろん、手数料が1%近くかかるため、利益率を下げることはありませんが、

クリニックの手数料負担は、他業種と比較すると実際は低くなることがわかります。



## Chapter 03.

---

# クリニックにおける キャッシュレス決済のメリット・デメリット

## クリニックにおけるキャッシュレス決済のメリット

### メリット

- ・金銭授受が減る
- ・キャッシュレス決済を求める患者さんのクリニックに対する印象が良くなる

メリットとしては、金銭の授受が減ることでしょう。

金銭を数えて、間違えないように渡すという行為は、毎日多くの患者さんに対応する受付スタッフにとっては非常に大きな負担になります。

そのストレスが削減できることがクリニック側にとっての大きなメリットだと考えられます。

また、キャッシュレス決済を求める患者さんにとっては、好印象になることも考えられます。患者さんとしても金銭を数えて渡すという行為が煩わしいと考える方も多くいらっしゃいます。また、クレジットカードでポイントを溜めている患者さんにとっては、クレジット決済を扱ってくれるクリニックさんを選びたいかなと思います。



## クリニックにおけるキャッシュレス決済のデメリット

### デメリット

- ・決済手数料がかかる
- ・導入費用がかかる

デメリットとしては、クリニック側のコスト負担になると思います。しかし、年々導入費用も安価になりつつあります。手数料と導入費用について、メリットと天秤にかけて判断するとメリットが上回るケースも多いのではないのでしょうか？

また、三菱UFJリサーチ&コンサルティングによる「令和2年度商取引・サービス環境の適正化に係る事業」の報告書では、キャッシュレス決済と現金決済の費用対効果についてのレポート報告があり、ここでの報告では、キャッシュレス決済が、現金決済と比較してコストパフォーマンスが高くなる可能性が示唆されています。

## キャッシュレス社会に向けて

現時点では、医療機関においてキャッシュレス決済の導入はそれほど進んでいないようです。

しかし、今後キャッシュレス決済の比率高まることは確実です。

医療機関においては、キャッシュレス決済に慣れた世代が高齢化していくことで、

医療機関におけるキャッシュレス決済導入ニーズが高まっています。

世の中の動向、患者のニーズ、現金決済とキャッシュレス決済の費用対効果、などを検討材料にして、導入を検討していくことが必要になっていくでしょう。



Chapter 05.

---

# クリニック専用自動精算機 Clinic KIOSKの導入事例

## Clinic KIOSKの導入で90%以上の会計業務効率化に成功

### 整形外科様事例

- 診療科目：整形外科
- 外来数：1日250人前後
- 導入台数：自動精算機 2台



#### 導入前の課題

- 患者数が増加に対してスタッフの採用が追いつかない
- 受付スタッフが忙しく満足した患者対応ができない

#### 導入後の効果

- 会計待ち時間の削減
- 再来受付機能も追加し、リハビリのみ患者さんの受付自動化
- 会計業務の時間を削減し接客に割く時間を確保

お問い合わせ先

## クリニックの会計業務のお悩みを解決します

クリニックの会計業務削減のためのサービスを提供しています。  
導入に関するご相談・ご質問がある方はお気軽にお問い合わせください。

Clinic POS



DeskTOP



Clinic KIOSK



再来受付機



無料相談受付中

[TEL:03-6427-2876](tel:03-6427-2876)

[Mail  
info@clinickiosk.biz](mailto:info@clinickiosk.biz)

お問合せ

[ウェブサイト  
を詳しく見る](#)